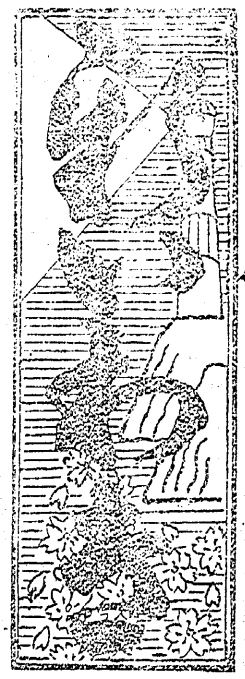
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）　【月刊】　昭和九年七月二十四日　新いわき　【火曜日】第二千二百三十六號（一）



本紙は毎月一日、廿五日、日曜祭日は二十五後一番二後一郎ビル十五後一番二後一郎ビル
發行所 福島縣平町大町二三番地
發行人兼編輯人 武井義雄
發行兼印刷人 平谷政吉

一週一言

冬陰夏陽まことに諺の如く冬は暗くして夏は明るい、赫々たる烈日森々たる樹葉、眼映の光景いづれも陽氣ならざるはない、一年を春秋と呼び一夏と云ふも人の最も天然に親しみをもてる義より稱へられたるものであらう、惑まるゝものゝ多きを受けて人はみな陽氣に跳躍する、

× ×

官公衙の半『ドン』次へでは賜暇、各學校の夏季休暇に官公吏も教職員も生徒も一樣に避暑地を探り、温泉に海水浴に山に登り水に泳ぎ、間を得たるもの多くは其所に身を延べる、自然に接する最好の時候に於て適當の運動を行ひ適當の慰安を求むるに云ふを要せざるも近年徒らに保養に流るゝもの〻多きをなすは好ましとされない、

× ×

出來得べくんば人は酷暑に耐えて秋に誇り嚴冬を凌へで春を迎ふる樣になしたく思ふ殊に非常時を控ふる我が國である、何時如何なる危機に遭ふとも之れに動ぜざる健康の要意がなければならぬ、而して健康は寧ろ四季の變化に怯まざるを養ふにこそ多けれ徒らに安逸を貪ぼるが如きは自ら弱きを招くものである、

× ×

食物の消化に吟味を過ぐれば遇々僅かの不消化物にも胃腸を害ふが如く病身でもないものが徒らに涼にひたり保養に流るゝは遇々これをなし得ざる場合暑氣に苦みて病を起すに至るであらう、極端な不攝生は別ものとして或る程度の不攝生は却て攝生の一方法たらずとは云へぬ、

× ×

避暑と云ひ避寒と云ふに止まらず、度を失ふは爲ざるに如かず、美食も過ぎれば味を失ふ、吾れ等は涼を探るものに此の度を誤るなきを望むと共に寧ろ耐暑の衆の如きをこそと思ふものである、

常識講座

プロトライプと云ふのは原型または雛形のことであつて鐵道や軌道の軌條の巾、即ち廣軌のことを普通ゲージと呼ぶのはプロート、ゲージの略、プロトプラズマは原形質のことだ

雨の爲午後一時から
火ぶたを切る野球大會
萬余の觀衆に上る平球場を始め各球場共に非常な盛會

今二十三日磐中校庭外好間村古河炭鑛及び湯本町營グラウンドの三球場に分けて開催された縣下中等學校の野球大會は打續く逆さ梅雨にたゝられて開場豫定の午前七時頃は一層意地惡く降りしきる霖雨の爲め式の擧行を絶とれてゐたが正午過ぎ漸く雨やみ午後一時から左記(組合せ)の合戰を三球場一齊に開始された之れより先き觀衆は平球場に萬餘の堵をなすものを始め湯本好間共に盛會であつた

第一日　（磐中球場）
1 平商業…會津工業
2 白河中學…福島師範
3 若松商業…磐城中學
（湯本球場）
4 福島商業…安達中學
5 喜多方中…保原中學
6 双葉中學…福島中學
（好間球場）
7 安積中學…石川中學
8 會津中學…相馬中學
9 田村中學…1の勝者

第二日
4の勝者…7の勝者（磐中球場）
5の勝者…6の勝者（湯本球場）
2の勝者…8の勝者
3の勝者…9の勝者

野球大會今日の戰績

第一回戰（磐中球場）

會工	0	0	3	2	0	0	2	0	0
商平	3	4	6	1	2	2	A	18	5

第二回戰（好間球場）

中石	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積安	0	0	2	0	4	1	4	A	11

（湯本球場）

達安	0	0	0	0	0	0	0	3	3
商福	3	0	1	3	0	2	0	4	1

（磐中球場）

師福	4	1
中白	0	…午後四時記…

初秋を減じて
晩秋增掃
片倉の特約飼量

春繭は二圓四五

平町の片倉製糸では春繭の正量仕切りを平均二圓四十五錢に入れたが秋蚕の特約組合飼育量は初秋三割減を以て掃立約四万枚、晩秋は平年の八萬枚より其の時期の模樣により增加したい見込みであると

米また高騰
共販相場
前回より十四錢乃至二十五錢高

石城郡販聯去る二十一日の俵米共同販賣は左記四百九俵の出荷に對して近來にない十數名の競爭入札により前回に比して十四錢乃至二十五錢の高値に取引されたが生産側も意想外の高騰に渡邊倉庫の如き尚ほ今猶百三十六俵あるので同値ならば手放したいと落札の入山採炭に增荷の交渉を試みたが入山では九圓五十三錢の下値を踏んだゝめ不調に終つた

平倉庫六十三俵九圓八十四錢（前回九圓七十錢）草野四十五俵九圓八十錢（前回なし）買ひ平町關内新次郎商店　渡邊（今猶）二百五十一俵九圓六十五錢（前回なし）買ひ入山採炭　勿來五十俵九圓六十五錢（前回九圓四〇錢）買ひ平町根本品藏商店（以上）

縣度量衡協會と
計量器組合の總會
來る廿五日小名濱町に於て
内務部長等を迎ひ盛大に

本縣度量衡協會並に計量器組合の總會は明後二十五日小名濱町に於て開催される當日は定款一部の變更、會費徴收に關する件、七年度決算並に九年度豫算を附議の外縣代議員の改選を行はれる筈で縣から赤土内務部長、丸山檢定所長以下數名臨席青沼平町長、横山平署長その他を招待閉會後同町吉田屋旅館に懇親會を催すことになつてゐるが地元有志總出の歡迎ある筈で盛會であらう尚ほ總會の係員は左記の如くである、

準備係長鈴木堅助　鈴木富太郎　泉驛案内係小野朝吉　新妻勝枝　關内仁平　深谷留吉　佐藤德次郎　宗像國治　增子淺次郎　青木元治　遊覽場案内係白石朝五郎　關内仁平　富樫勝秀　白石義雄　佐藤榮喜　菅波正雄　小宮山皆吉　宗像國治　總會々場係諸橋久太郎　新妻盛　關内正一　木村重五郎　鈴木堅助　小野常治　赤津庄兵衛　坂田藤助　堀喜一　瀬尾善之進　宴會係鈴木富太郎　關内榮助　大浦孝彦　山野邊東次郎　小野朝吉　白石朝五郎　關内仁平　諸橋久太郎

平郷軍の模擬動員
應召五百八十八人
事故不參四十九名は少くない
着流し三名は甚だ不面目

平町役場と同町在郷軍人分會主催の模擬動員は去る二十日令狀交付二十一日早朝の動員に到着の最も早きもの午前六時二十分で同七時半までの定刻に應召せるもの八百四十七人の令狀交付人員に對して五百八十八名（出寄留二〇三、事故不參四九、所在不明三、在監者四）の成績を見せて會場第一小學校庭に整列奉公袋の内容（貯金通帳携帶一五八名）點檢終つて國旗揭揚の下に模擬動員總司令青沼町長の閲兵分列式後同町長の挨拶に次へで藤田分會長の講評、山崎郡聯合分會長及び福島聯隊區司令官代理本田少佐の訓示、軍人會本部（審議員）猪狩中將の挨拶ありて縣社子鍬倉神社參拜の後午後は第二會場に於て藤井副長の開辭、勅諭勅語の奉讀終つて猪狩中將の講演あり午後三時軍人會歌合唱、陛下の萬歲を三唱して解散したが應召者の中奉公袋を持たざるもの少數及び着流し三名ありたるものと模擬なるが故に事故不參四十九名を見たるを遺憾とされ特に賞されたるは負傷の身を松葉杖で應召した野村、和田の兩軍人であつたが概して好成績と評され尚ほ在郷軍人分會では左記の決議文を以て一層の緊張を誓つた

一、吾等在郷軍人は先づ身を修め家を齊へ範を郷黨に示し以て明日の出征に遺憾なきを期す、

一、吾等在郷軍人は一層團結を鞏固にし皇國精神の作興統一と國防の充實を期す

一、吾等在郷軍人は刻下非常時局に於ける這次模擬動員名乘を機とし益々軍事智識と其能力の增進を圖り至誠一貫以て聖旨に副へ奉らんことを期す、

一、吾等在郷軍人にして未だ本分會に入會しあらざるものは即刻其手續を完了し一致團結の實を示さんことを期す、

明後廿五日の
菜種共販
二千二百九十三俵

小麥は三百六十四

石城郡農會と縣信用の提携する同郡産菜種及び小麥の第一回共同出荷は來る二十五日競爭入札に付されるが今回の總量は乾燥思はしからざるため次回に殘されるものもあり合計二千二百九十三俵（菜種）小麥は三百六十四俵に過ぎない在庫別左の如し

菜種平會庫八七四俵　草野二四七俵　泉一〇一俵　植田七八七俵　小川郷二八四俵◇小麥三六四俵植田

川魚の習性と
其漁法（三）
石田磐中教諭

尚ほ避難逃走に關する特種事項數件を御參考に申し上げます、

イ、比較的急激な減水に遭遇しますと魚類は一時應急の避難を遂げて後日沒に到るを待ち漸く避難逃走を行ふものが多いのであります、魚類が急襲を受けますと其の發生地を中心として川上の魚類は上り川下の魚類は下り右のものは左し、左の魚類は左すると云ふ樣に四方八方に逃走致します然し之は一時的の現象でありまして事故發生の瞬間に現はれるのであります、然も此の關係が急激に行はるゝ程逃走が迅速でありまして情況によつては礫石の間に一時頃を入れて隱遁を企つるものも生じて參ります此の一時的逃走から引續き避難に移るのであります、

ハ、洪水等のため增水甚だ〻しく溷濁を呈する樣になりますと逐次兩岸に避難致します、特に常々選定して置いた避難所が水勢のため危險を感ずる樣になりますと魚類は避難所より逃走を企てます、此の場合多くは濁流でフート尺を辨じない樣になりますから遂已むを得ず附近の兩岸に塲所の嫌ひなく避難する事になるのであります、昔から氾濫の際子供等が能く手網を以て岸掬ひと稱し雨の中を物ともせずに大きな魚類を捕獲するのは此の理由に基づくのであります、

ニ、小魚は往々大魚の食餌に供せられます、從つて餘り大きな魚類が棲んで居る深淵などは避難所として魚類が選定しない場合があります、俗に河川湖沼に昔から魚の主が居るなどと云ふのは一般魚類の立塲と危險の立塲から共通の諷刺として現はれた面白い連鎖であります、

× ×

農民の自助協同と國家の任務

（十一）　内務省社會局

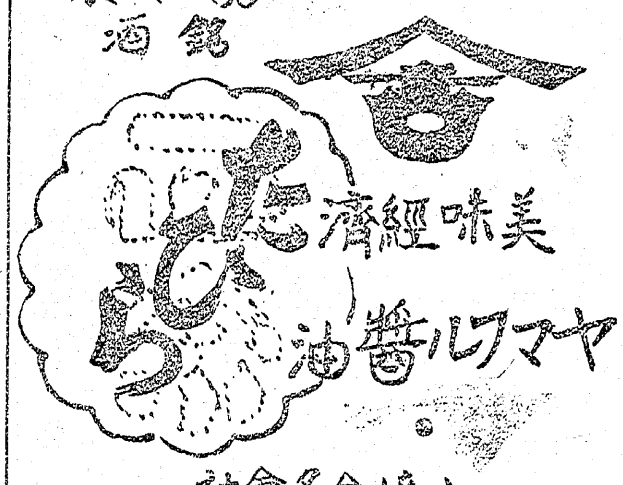
要之に我が國は古來農業の發達に對して絶えざる援護と助長とを加へ來つたのであるが、曾ては農は國本なりと云ふ思想と、經濟の基礎が從つて國民生活の根底が農業、農村に在つたと云ふ事實に由來するものであつた、然し國民の産業生活が著しく變化し工商、交通運輸業等々の諸産業部門、各産業者の經濟力が發達を遂げ、産業經濟に於ける自律性を確立するに至る時、國家は從つて之れに干渉するを避け、寧ろ各産業部門の自治自助的活動を期待し、よつて以て國民經濟全体の有機的發展を實現せんとする、これは國家の國民の自由なる産業經濟生活に對する根本的の態度である、たゞ各産業部門間に、或は産業者群（資本家と勞働者）の間に、乃至は地域間に（都市と農村）經濟上文化生活上著しき不均衡を生じたる場合に、之れを調製せんがために各種の政策を行ふ、例へば國民階級間の所得の分配が甚だ不均齊となつた場合に之れを是正すべく、或は勞働立法、社會的保險の實施、所得に對する累進率課税、其の他社會政策を行ふ、地域間の利益の不均衡に對しては鐵道道路等の開設をなし、水利事業を施行する、又産業間の不均衡の問題については、價格構成に干渉するか（價格の釣上、保護關税、輸出奬勵等）直接の補助金を與へる等の政策を行ふ、今日の農業に對して或は保護關税により海外農業の壓迫を緩和し、補助金を與へ、價格釣上げを行（米穀統制法）乃至は低利の資金を供給する等、國家の施設は實に廣汎多岐に亘ると雖も、其の意味は、農業部門のみを特に偏重して援助するのでなく國民の産業部門の經濟的、文化的不均衡を是正せんとするに外ならない、

パラソルと日傘

例年御定評を頂く當店特選の
優秀な新柄を豊富に取り揃へて

ツルヤ　電一四〇

内科、小兒科
入院應需
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番



山崎合名會社
電話十番

日掛は金十錢以上金五十錢までありますと六ケ月以上御掛けに成れば一ケ年分前貸致します
一ケ年御掛けになれば年五分に相當する配當があります

商品日掛販賣の權威
有給外務員招聘
平町南町一九
一德合資會社平支店
出張所　四倉町本町九九
〃　湯本町三函二〇一

産科
婦人科　院長　木村寅次郎
外科　醫學博士　内木宗八
藥局　藥劑師　玄蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

新設、電話二二番
何卒御利用の程を……
平町紺屋町一一
上原家政婦會
（産婆）上原通子

スペインG・H・N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1・10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
（平2）　西村屋藥舗　（電3）

貸手車
新規物を格安にお譲も致します
平町大町若松醫院隣
牛谷

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

磐城名産特賣所
御土産物には郷土の名産が第一
石城みやげ
七濱の生産品
地元産の果實
平みやげ
名菓各種
平町驛前

石炭
コークス
豆炭
平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九八番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關内正一
平町二丁目　電話一六番
事務取扱者　阿部助次郎

賣り行き盛んなる
強力殺虫劑
◇◇◇ネオマツソール（噴霧器付）
（汽車印）
◇◇◇片腦油（白製品）
（秤ウリ）
強力「ハイトリ粉」
容器御持參のこと
夏季、衛生藥事の御相談は弊店へ
是非……
（漢方家傳）
胃腸藥發賣元
山野邊藥局
藥劑士　山野邊東次郎